

本方秀麟 もとがら じゅうりん 畫家、俳人。明治十四年二月十九日石川縣金澤生れ、

昭和七年九月二十一日歿（六八—九三）。本名哥。大正初年京都の各

寺院の古畫を研究。上京後新俳畫を唱導した。五年西原洒々主宰俳誌

「赤壁」創刊、同人となる。十年雜誌「俳人と畫人」、十二年「俳寫

山」、「早稲」を創刊主宰。妻古郡（本名琴、明治二十九年二月十六日

山口生れ）も畫、俳句を爲す。

著書「俳畫を習ふ人へ」（大正十二年六月）二十五日赤壁吟社「赤壁

叢書」一、「俳人が繪を描くまで」（昭和二年十月）二十日資文堂書店（

等。

